

ボランタリークレジット プラットフォーム 企業最新動向(2022 年 3 月)

2022 年 3 月 29 日

家庭用ガスでカーボンニュートラル LNG の販売

海外ではブルーカーボン、森林・土壌保全プロジェクト開発への参入が相次ぐ

家庭用ガスでカーボンニュートラル LNG の販売

すでに日本国内では、多くのガス会社が、業務用、工業用向けで、カーボンニュートラルガスを供給しているが、日本の東邦ガスが、3 月 1 日から、家庭用のガスで、「カーボンニュートラル都市ガス」の販売を開始した¹。エコジョーズ料金などの利用を条件に、料金支払いで貯まるポイント 2 ポイントで 1m³ のガス使用をカーボンニュートラル化できるサービスを開始。家庭用ガスにも、カーボンニュートラルガスが提供されはじめた。その他にも、岩手の盛岡ガスなどの地方のガス会社もカーボンニュートラルガスの提供を始めるなど、日本国内でのカーボンニュートラルガスの供給は地方のガス会社にまで広がりを見せつつある。

ブルーカーボンや森林保全や土壌保全などに自然生態系の保全に関わるプロジェクト開発に参入が相次ぐ

ブルーカーボンや、森林・土壌保全などの自然生態系保全に関わるオフセットクレジットを創出する動きが活発化してきている。

米国ネバダ州の鉱山開発を専門とする Nevada Canyon 社は、米国西部地域の放牧管理地における CO₂ 土壌吸収プロジェクトによるクレジットを創出を目指し、Carbon Canyon を設立することを発表した²。また、ニューヨークを拠点とするアセットマネジメント投資 Kimmeridge 社は、Natural based Solution による質の高いオフセットクレジットを創出するための会社、

¹ https://www.tohogas.co.jp/corporate-n/press/1228173_1342.html

² <https://www.newsfilecorp.com/release/114571/Nevada-Canyon-Forms-Carbon-Streaming-Subsidiary>

Chestnut Carbon 社を立ち上げると発表³。プロジェクト開発のために、米国内で家族経営による営まれている小規模な林業事業者を支援するためにオフセットプロジェクトを開発している Forest Carbon Works を買収し、今後、Forest Carbon Works と共同で植林などの取組みを行う。

これらのような森林保全、CO₂ 土壌吸収だけではなく、マングローブ林の再生などのブルーカーボンと呼ばれるオフセットクレジットを創出するプロジェクトへの投資を行う動きも見られた。カナダの ESG 投資会社 Carbon Neutral Royalty 社は米国の World Viewing International 財団と MOU を締結し、今後、協力してマングローブ林の再生プロジェクトを実施し、クレジットを創出することを狙う。最大で、7000 万 tCO₂e の排出削減量(除去量)を創出するとともに、10 年間で 50 万ヘクタールのマングローブ林再生を目指す⁴。

このような積極的な取組みがなされる背景には、様々な判断があったようだ。Nevada Canyon 社の CEO の Jeffrey Cocks 氏は、カーボンクレジット市場は今後、さらに成長すると述べ、将来の市場拡大を見越した取引であることを認めている。一方で、Carbon Neutral Royalty 社は、プレスリリースの中で、自然生態系の保全により CO₂ の排出削減、吸収が行われるだけではなく、生物多様性の保全や地域社会、地域経済への貢献がなされること強調しており、自然生態系の持つ多様な機能に着目した結果の決定となっている。

ブロックチェーンを活用し、自然生態系に関連するクレジットの取引を活発化させる動き

ブロックチェーンを活用して、環境再生型農業に由来するクレジットの取引を活発化させようとする動きもあった。フィンランドの Likvidi 社が、3 月 9 日に、VCS の下で発行された農業や森林保全に関連するクレジットを Liquid Carbon Credit (LCO₂)としてトークン化し、ブロックチェーンを活用して取引するプラットフォームを設立したと発表した⁵。プレスリリースでは、LCO₂ は、同社が提供するプラットフォームを活用することで、クレジットの起源、移転の経緯などの透明性が確保されると述べ、LCO₂ の償却により購入した企業の排出量をオフセットすることが可能であるとされている。

ブロックチェーンや暗号資産を活用したボランタリークレジットの取引は、すでに多くなされているが、今回、発表された取組みは農業や森林保全などに関連するものに注目したものでユニークな取組みとなっている。森林保全には企業からの関心が高く同様の取組みがさらに広がってくる可能性もある。

³ <https://www.prnewswire.com/news-releases/kimmeridge-launches-chestnut-carbon-to-create-high-quality-nature-based-carbon-offsets-301505748.html>

⁴ https://www.carbonneutraltd.com/s/CNR-WIF-Partnership-March-1-2022_Final.pdf

⁵ https://www.likvidi.com/likvidi_launches_digital_carbon_credit_trading_platform/

2022 年 3 月のボランタリークレジットに関する企業の動向

国名	ニュースヘッドライン	出所	日付
欧州	UBS・SC・BNP パリバがカーボントレードのプラットフォームに参画	Carbon Pulse	2022/2/15
米国	カーボンクレジット会社の合併、買収が相次ぐ。北米ブルーソース社とエレメントマーケット社、合併に合意	Carbon Pulse	2022/2/23
米国	アメリカネバダ州の鉱山開発会社ネバダキャニオン社、放牧管理地の土壌炭素隔離による CO2 クレジットプロジェクトの実施を支援する事業を開始	Newfile	2022/2/24
米国	カナダのカーボンニュートラルロイヤルティ社と米国ワールドビューインターナショナル財団がマングローブ再生によるカーボンオフセットプロジェクトで 7,000 万トンのクレジット発行を目指す	カーボンニュートラル社 プレスリリース	2022/3/1
日本	東邦ガス、家庭用にカーボンニュートラル都市ガスのサービス受付を開始	東邦ガス プレスリリース	2022/3/1
米国	アメリカの森林由来クレジットを取引する Natural Capital Exchange は米国外へのプロジェクト拡張に向けて 5000 万ドル調達	Carbon Pulse	2022/3/2
コロンビア	コロンビアのデューク大統領、生物多様性推進と自然由来オフセットクレジット市場の拡大について演説	Carbon Pulse	2022/3/7
欧州	Likvidi 社が環境再生型農業由来カーボンオフセットのプラットフォームを提供	Livid 社 プレスリリース	2022/3/9
欧州	スイス Neustark 社が GS 認証付の炭素除去技術の開発を発表	BusinessGreen	2022/3/10
日本	環境負荷軽減へ カーボンニュートラル LNG 受け入れ開始 都市ガス 4 社【岩手】	ヤフーニュース	2022/3/17
日本	商船三井、J ブルークレジットによるブルーカーボンオフセットに参画	商船三井	2022/3/18
米国	自然由来のオフセットクレジット取引プラットフォーム Chestnut Carbon にアセットマネジメント投資の Kimmeridge 社が 2 億ドルを投資	PR Newswire	2022/3/21
日本	「脱炭素対応型」新保険を開発 企業の環境価値減少を補償	東京海上日動火災保険	2022/3/22

(出典) 各種資料を踏まえて日本エネルギー経済研究所作

(文責) 小松 潔(日本エネルギー経済研究所)

(情報収集) 岡村俊哉、高実子晃、松本晃(日本エネルギー経済研究所)